

事業報告書 (令和 2 年度)

岡山きょうだい会 本当を繋げる。リアルボイス TODOKERU & SHIRITAI キャンペーン

事業名 第一回 リアルボイス TODOKERU 発表会 & SHIRITAI 勉強会 in 岡山 「障害者を兄弟姉妹に持つ私達、今を伝へる...そしてつなげる。」

団体名 岡山 きょうだい会 担当者名 増田美佳

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容 (日時、場所、参加対象者、人数、内容等)
令和2年 8月 29, 30日, オンライン開催 (新型コロナウイルス感染拡大防止の為) 配信会場として 岡山市立 東公民館を使用。 きょうだい当事者, 保護者, 支援者, 教育福祉関係の学生など。 8/29 44名 8/30 58名 合計 102名 本来、きらめきアザを使用して行う予定であったが、新型コロナ予防の為、急きょオンライン配信のイベントへ変更。 発表会は YouTube 配信、勉強会は ZOOM を使用し開催しました。 (発表会で きょうだいのリアルな声を聞いていただき、勉強会で さらに その声を掘り下げていく形です。)
2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ
今まで見過ごされる事が多かった「きょうだい」の声をまずは知っていただき、周囲へ新たな視点をもつ事で、それぞれの想いを受けとめ、 今までとは違ったコミュニケーションをとっていく、一長一短でなく、長期的に継続して関係性を築いていく事が大切だと思っております。
3. 取組の成果 (参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)
今回は、急きょオンラインイベントとした為、告知内容の変更が3週間前となり、参加者に伝える方法や期間としては満足したものではありません。 しかし、それでも参加していただいた方々の意欲は主催者の意図を大きく越え、私達が今回主旨としていた「きょうだい」の今を伝える事に、大きく一歩を踏み出せるものになったと思っております。

4. 今後の課題と展望

「きょうだい」もその対象であるヤングケアラー（18歳未満の介護者）の初の全国調査が厚労省により行われるなど、少しずつではありますが「きょうだい」の存在や「きょうだい支援」の必要性が見直されてきています。しかし、まだまだ当事者である「きょうだい」の声を拾い上げるのは難しく見落されているのも現実です。きょうだいにスポットを当てたこの冊子により、行政の方々にも広く知っていただき、より一層のご協力、ご支援の必要性を知っていただき、考えていただくきっかけとなる事に期待しております。